

3期目の町政レポート

杉戸町議会議員

原田すずこ

『住民主役の新時代へ!』を掲げ、3期目へ



3年前の夏、多くの皆さまのご支持をいただき、議員3期目がスタートしました。窪田新体制発足から4年。杉戸町はどう変わり、町民の暮らしは、本当に好転したのか？

私は議会において、町長の公約や予算、事業の実態を一貫して検証してきました。

令和8年1月には、国からの地方への予算、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の使い途について、臨時議会が開催されました。物価高騰対策そのものは必要な支援です。

しかし一方で、国の交付金事業を進めるだけではなく(町長不在でもできる)、掲げた公約に責任を持ち、町民に成果を示していくこと。そこが最も重要だと考えています。

【国の施策による杉戸町の物価高騰支援対策は6項目です】

- ① 4月、5月、6月、7月の上水道基本料金の免除
- ② 18歳未満までの児童に玄米5キロ
- ③ 町民1人7000円の商品券
- ④ 公共事業者全体で50万
- ⑤ 行政区全体で720万(省エネ推進事業)
- ⑥ 障がい者施設/介護施設の物価対策支援費全体で305万5000円

原田すずこ後援会

〒345-0046 杉戸町高野台南3-1-6

TEL:080-1860-5853

メール➔



討議資料

お問い合わせ

haradasuzuko.kouenkai@gmail.com

【本当に必要な町政】を問い続けてきました

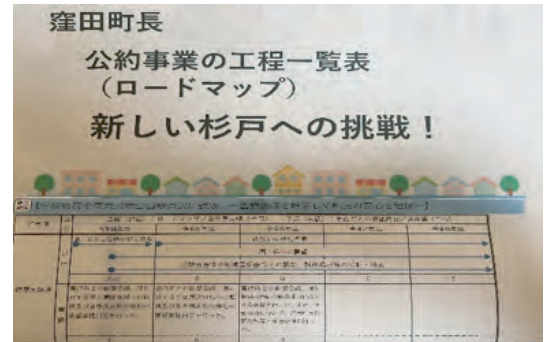
町長公約、本当に進んだのか？

「耳ざわりの良い言葉」ではなく、大型事業ほど、「掲げること」より、「本当に続けられるのか」を見極めなければなりません。

- ・本当に実現可能なのか
- ・町民生活に意味があるのか

を徹底的に問い続けてきました。毎回、多くの傍聴者にお越しいただき、緊張感と励みになりました。

空白のロードマップ



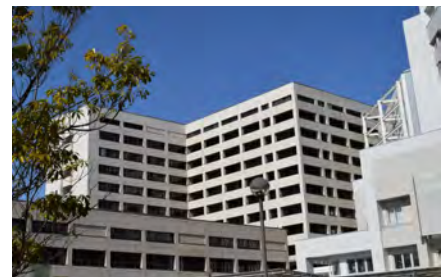
1 公約：病院誘致4年間の進捗は？

町長公約で、民意を惹きつけたであろう病院誘致。だからこそ、私は懸命にそのシステムや制度設計について勉強。数百枚の資料を読み込み、以下の解決をどう図るのか言及しました。

- ・医師不足→町が永久に医師の人件費を補填できるのか
- ・病床規制→人口比等で決定され、動かせるものではない
- ・全国7割の病院が赤字経営
- ・採算性(国は寧ろ統合再編を示唆)
- ・人口減のまちに‘来たい’という病院が果たしてあるのか

結果

- ①公約では杉戸町に!とうたったが、残念だが適当な土地が見つからなかった。
- ②病床数は利根医療圏では充足している為、とりあえず増床できないか県に要望書を提出



- Q その要望書には、増床要望の根拠となる資料は添付しましたか？ → A 特にしていない。
- Q 県の回答は？ → A 4年間、特に進展はないが、要望の認知はされた
- Q 4年間で行ったことは？ → A 宮代と連携し、場所を宮代に決定した
- Q 杉戸の医療関係者との協議は → A まだ具体的な協議はしていない
- Q 板橋病院に行かれたというが、反応は？ → A 特にまだ反応はない

令和5年 9月
定例会一般質問



令和7年12月
定例会一般質問



検証

分析なしの要望書や、公約に対する空白のロードマップではこの先何年待っても『病院誘致は絵空事、極めて困難である』ということと言わざるを得ません。町長自身、他力本願で、取り組み方がわからないような状態が続き、答弁からは情熱を感じ取ることは4年間できませんでした。今、杉戸町民に必要な医療環境は、既存の東埼玉総合病院や白岡中央総合病院、新久喜総合病院、かかりつけ医等への医療タクシー補助であると、何度も要求しましたが、町長からの指示は出ませんでした。町長になるしかないと感じました。

2 ▶ 公約：西エリア高野台から久喜駅をつなぐ「下野久喜線」は悲願ではなかったのか？

町長が、この事業を公約通り実行する情熱があるならば、明確な根拠や未来図を提示し、住民や地権者に寄り添う姿勢が必要であると厳しく問い続けました。

■地域への影響と採算性

杉戸・久喜両市のメリットは共有されているのか。単なる「通過道路」となり、町外へ消費が流出する懸念はないか。逆に久喜市民を呼び込む具体策はあるのか。

■地権者と環境への配慮

歴史的価値のある「高野砂丘」の保護や、近年の豪雨リスクへの対策は万全か。また、根深い「筆界未定地(地権者不明地など)」の解消にどう取り組むのか。

【町長答弁と現状】

久喜市と事業協定を締結し、約3,218万円を投じて測量等を実施。しかしその後、解決困難な事案が発覚し、現在は予算を凍結しています。なお、道路開通による効果については「開通してみないと分からない」との答弁に留まりました。



令和7年3月
定例会一般質問



令和7年12月
定例会一般質問



検証

本事業は極めて不透明な状況です。中央、南、東、泉地区の方には直接かわりのない道路整備だからこそ、**久喜市民や近隣の人々を惹きつける「杉戸全体の魅力」を先に打ち出すべきだ**と、私は一貫して訴えてきました。

しかし、窪田町長の事業設計は非常に雑で、4年間で地権者協議も進まず、高野台全体の青写真もはっきり示されないままです。町の有力な財産である、高野台西仮グラウンドの魅力ある整備が先であり、**順番を見誤ってはいけない**と提言しても反応なしでした。

町長選挙間際になって、私の政策を検討したいと言ってくるあたりも、どこまで真剣なのか、わかりませんでした。8年間も研究調査し続けている私にしかできないなと実感します。

3 ▶ 公約：県内トップクラスの学力 その意気込みは

町長が掲げる「**県内トップクラスの学力**」という公約に対し、私は具体的な定量目標や根拠を求めてきましたが、明確な回答は得られませんでした。

Q 県内トップクラスという公約の実行部隊は教職員となりますが、その到達の根拠をどこに置くのでしょうか？ 正直目指すものに向かっているといえますか？

A 知識を身に付けておくことが、思考力・応用力・協調性等の総合的な生きる力になる

Q 成果となる根拠・数字・定量目標は？

A 子どもの成長の姿にあって、定量目標の設定は難しい

Q 学習指導要綱が偏差値学力重視から、資質、主体的思考力の転換によって、教師が教え込む授業は大幅に削減されたという教育委員会は話されているということは、町長公約は破綻していますが。

A (教育長答弁) 町長には、折に触れ何度も学力観の転換についてご説明をし、ご理解を深めていただいております。

令和5年12月
定例会一般質問



検証

これまでいろんな教育現場について、さまざまな角度から質問・言及させていただきました。**公約にする前にもっと勉強してから掲げる重要性**を問うことになりました。鼓笛隊の中止への疑義、卒業式のあり方、金融リテラシー教育の強化、海外教育における表現力の授業の紹介、給食の無償化が国策として実施された場合、杉戸町独自の質の担保、グレーゾーンの子どもたちへの教師の力量 etc.質問・言及してきました。

さらに、教師の働き方改革が負担軽減を指すのであれば、それは、改革ではなく、削減ということだと思います。杉戸の子どもたちの体力も県目標に達成してないということですし、しっかりと、定量目標を持つという事から逃げずに取り組むべきと感じます。教育現場は部活動の問題もあります。一にも二にも待ったなしで取り組みの強化が必要です。もう8年間の言及に限界を感じています。町長にならなければと、改めて思いました。

学校再編後の再利用については早急に対応を！(旧東中、西小)

学校は地域防災拠点になる大事な公共施設です。老朽化で使えなくなれば、再編計画に、**一緒に考えるチームの立ち上げ準備**をなぜ、しようしないのでしょうか。

東中学校は未だに何も手つかずです。我々会派では、廃校を利用した『東京おもちゃ博物館』などに出向き、かなりの提案をしているのですが応答なきまま月日ばかりが流れる。

→町長の指示がないとできないのに・・



4 ▶ 公約：'アグリパークゆめすぎと'活性化

さらに多くのひとの来場をめざし、農業の活性化につなげる・・という公約は結果的には、大きくアーチになった屋根の危険な部分の改修と、パンの新たな販売で、地産地消をつかったオリジナルパンの開発などに留まった。窪田町長自身には、根本的にアイデアはないのであろうか。

実際は、販売店舗を拡張する案がでていましたが、補助金の有効性を重視しすぎて、肝心の設計がなかなか議会の承認まではいかず、付帯決議によって、危険個所の改修に留まった。



画像出典：Google Earth (Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO, Landsat / Copernicus, Airbus, Japan Hydrographic Association)

検証

アグリパークに関しては、可能性がたくさん浮かぶけれど、これも、議員レベルでは、提言で終わってしまいます。特に小作農家である生産者がもっと儲かる仕組みをどんどん提案したいと思っても一番不思議なのが、どんな場所の政策に関しても、その地域の人だけや、その関係者ばかりを対象にした協議会が多いことです。このような施設のアイデアは、地域から離れた人ほど、想像もつかないアイデアを出したりするものです。

まず、遊び心のない人が寄り集まって会議しても、進展しないでしょう。

地元型＝「関係の中で最適化」

私＝「改良ではなく、発想そのものを変える準備は整っています」と言いたいです

5 ▶ 公約：企業立地戦略室の創設 今のところ動きなし

6 ▶ 公約：～ごみのない町～ 太陽光の設置 進捗は？

治水管理は進んでいるか

- 【ごみのない町】 → 4年間動きなし
- 【太陽光の設置】 → そもそも昨今推奨されていない

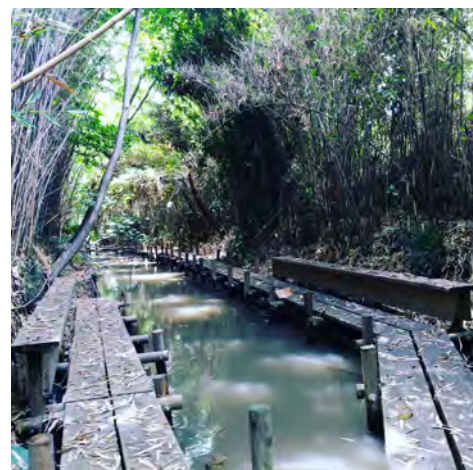
【南側水路の整備】

かつて町長も都市排水と化した南側水路のゴミを拾いに来ていたそうです。町民による水路再生を目的としたボランティアがかつて100人はいました。目的は、先人が大切にしてきた杉戸町の原風景を守ること、もう一度子どもが水と自然に触れられる、スポットができないかというものでした。

窪田町長の公約事業でもあるので、まずはその水辺空間の検討区間の正確な抽出をするために費用を930万計上しました。

しかし、その後は、度重なる護岸の整備に追われ、水辺空間の再生の道は現在閉ざされております。

地道な活動で、びっくりするような再生を果たしている用水路はいくつもあります。



令和6年3月
定例会一般質問



令和7年9月
定例会一般質問



検証

このような、排水路化してしまった水路に対する知見の差は人によって大きいのですが、専門家が集まることで、地域創生に繋がっていきます。まやかしのような委託費に930万もかけて、やりっぱなしは、税金を無駄にしまいます。**水を守ることは、杉戸の未来を守ること。水の問題は単なる排水ではなく、観光・経済・防災・教育・福祉、そして町の価値そのものにつながっている**ということです。今、杉戸の水路は、豪雨や都市化により大きく役割が変わっています。だからこそ、**専門家・地域・行政が連携し、“水の司令塔”となる仕組みが必要**です。私は、やりっぱなしの委託ではなく、地域に知識と人材を残す「杉戸水環境再生プロジェクト」を進めます。

水を守り、暮らしを守り、次の世代へ誇れる杉戸をつくっていきます。

→ 町長でなければできない

この3年間で原田の気づき

1 防災と治水 安戸落とし → 治水は、結果的に農業支援を推進します

杉戸町には、河川を総合的に見る司令塔機能が不足しています。町長自ら知見を要する最重要事項です。もちろん豪雨災害ではありません。
もし、中川が氾濫したら……

治水、排水、水路管理、土地改良区のアップデートと連携を一体で考える体制整備が必要です。まずは専門チームを立ち上げようと思います。が！これも町長にしかできません！



画像出典: Google Earth (Airbus, Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO, Landsat / Copernicus)

令和6年3月
定例会一般質問



令和6年6月
定例会一般質問



令和7年3月
定例会一般質問



2 今やるべき交通弱者問題

高齢者・主婦層・免許返納後の移動手段。私は初当選以来、繰り返し取り上げてきました。しかし現在の縦割り行政の仕組みでは、抜本的な制度設計には限界があります。結論！私は、「町長にならなければ設計できない課題」と認識しています。

誰でもが、行きたい時に、行きたい場所へ行ける町に
～実現可能な移動手段の確保へ～



議員1期目から、まず取り組んだことは、移動手段の確保でしたが、

タクシー補助もデマンド交通も行政の壁は固く、せめて、**通院医療補助**だけでもと思い、制度設計について視察、国交省の勉強会や、他市町村にも出向きました。

杉戸町地域公共交通会議を傍聴した際、窪田町長が地域公共交通を『あくまでも、民間の交通の補完である』と位置付けられていたことはとても、疑問が残りました。補完的な役割と言うのであれば、例えば**朝日バスの時刻表と連動させるべきであるし、その連携についてはもっと検証をすべき**と思います。現代の若者は車の免許をとりたがりません。やはり、深い検証と、取り組みの実証実験をやるべきです。議員では限界なんです。

財政に強い町長の誕生を！

令和5年9月
定例会一般質問



令和6年6月
定例会一般質問



令和6年12月
定例会一般質問



3 国民健康保険・法定外繰入 → 有事の際の国民健康保険基金積立に頼れず

法定外繰入と言うのは、受益者負担では足りず、現役世代の税金から補填することです。しかし、継続的利用は問題です。杉戸町は基金を取り崩してきたわけですが枯渇しました。

保険制度は持続可能性を考える必要があります。保険料で集めたお金(国保加入者)よりも出ていくお金が多い現代社会では、制度が追いついていません。低所得者への減免制度も厳しくなっていくわけですから、取り組むべきは、国へ状況報告、制度見直し要望、町全体の予防医療の徹底等です。しっかり健康寿命を延ばす必要があります
➔ 町を明るくする仕組みの波及効果はすごいという結果もでてますから、杉戸町もより一層取り組んでいきましょう。



4 ▶ 新たな価値の創造ができるか期待

～生涯学習センター カルスタすぎと～芸術・文化に光を！

杉戸町の知的財産と誇れる図書館の確立は、町全体のレベルアップへの近道と言えます。6年前に図書館協議会を要望し、実現できたことは画期的な一歩でした。今回PFI事業が終了し競争入札で2つの団体から1団体が応札されました。その道のプロであるTRC+オーエンスに決定。年間1億3,869万6,000円が運営管理委託料として発生します。



私は2年前の12月28日、佐賀県の武雄図書館を視察してきました。時の市長にお会いすることができましたが、「今までにない図書館の構想を言語化するのには容易ではない」と。武雄市は人口5万弱のまち。今では年間来場者数92万人。人口の何十倍も来館するその経済効果は20億円です。その市長が、「杉戸まで行くよ」と約束してくださいました。

令和6年9月
定例会一般質問



令和6年12月
定例会一般質問



5 ▶ 杉戸のスポーツ環境を一体的に整備すべき

学校跡地や西仮グラウンド整備事業が、手つかずでは、何をどうするのでしょ。4年間の町長答弁を必ず見て、チェックすることは、町民の大切な権利です。議会のデジタル配信も、税金が使われているので、真実を知ることが、杉戸の前進に繋がります。町長は、いろんなところで顔出しはするけれど、施策に転換しようとされない方です。常にアンテナをはって、なぜ町長になったのか、緊張感をもって取り組むべきだと思います。



画像出典：Google Earth (Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO, Landsat / Copernicus, Airbus)

私は窪田町長になられてから、ずっと支援体制をとってきました。

しかし、私との約束を実行してくれたのは、高野台駅東口ロータリー改修工事だけでした。

6 ▶ 原田すずこ 住民主役の新時代政策実行

窪田町長就任2年目。私の町議選の街頭演説に駆けつけてくださった窪田町長は、聴衆の前で「杉戸高野台駅前ロータリー全面改修工事の予算化」を約束され、予算化が実現しました。しかし、整備手法を巡り対立が生じました。全面タイル舗装を強く希望する町長に対し、私は維持管理や安全性、コストの観点から「アスファルト工法」との比較検討を提案。何より「町の顔」である駅前の整備は、「住民説明会を開き、利用者の声を聞いたうえで方向性を決めるべき」と訴えてきました。

結果として、十分な説明がないまま工事は進められることになりました。予算案は一部修正による付帯決議を経て可決されましたが、納得感のない進め方は極めて残念です。「行政が決めて終わり」ではなく、住民とともに考え、納得して進める町づくりを、私はこれからも貫きます。

令和6年6月
定例会一般質問



下野の森を守る

杉戸環境会議でその価値が再認識された高野砂丘

県から打診された『高野砂丘に隣接する土地を天然記念物にしたい』旨の申し出を、窪田町長は自身の公約である『下野久喜線道路整備事業』の妨げになると懸念し、断るという前代未聞の決定を下しました。この事態を受け、私も毎月参加している「杉戸環境会議」が撤回を求める要望書を提出。会員の博識さを結集し、一文一文丁寧に練り上げられたその全文を、教育厚生常任委員長であった私から栗原議員に依頼し、議場で読み上げていただきました。

知識や認識の異なる議員たちをも動かしたのは、環境会議の圧倒的な熱量と専門性です。まさに住民主導で町の宝を守り抜いた「住民主役の新時代」を象徴する出来事となりました。

「杉戸環境会議」へ参加しませんか？

年齢・宗教・政治色は一切不問。杉戸の未来を真剣に考える市民の集まりです。ぜひ一度、その熱気に触れてください。



原田 寿々子（はらだ すずこ）プロフィール

- 1963年 横浜市生まれ横浜育ち（23歳まで）
中学は陸上部 高校は合唱部
- 1985年 東京音楽大学ピアノ科卒業
- 1986年 結婚（2人の子育て）
- 1994年 子育てのため杉戸町へ
- 1999年～2001年 子育てのため
オーストラリアシドニーへ家族で移住



【主な経歴】

- 西子育連副会長（2年間）
- 杉戸中学校 PTA 会長 自治会長（2回）
- ピアノ講師歴 45年
- 金融ライフコンサルタント業 17年
- 杉戸町議会 3期
- 議会だより編集委員長
- 議会運営委員会副委員長
- 教育厚生常任委員長 2回

【履歴】

- 1993年 首都圏 FPコンサルタント会社で金融を学ぶ
- 1995年 一旦職場を離れ音楽教室開業
- 2009年 音楽教室兼金融・保険代理業開業
トータルライフプランナー従事
- 2016年・2017年
大手生命保険会社全国コンサルタント発表大会
において、2大会連続最優秀賞受賞。
以降、大手保険会社ライフコンサル
タント講師として全国を回る
- 2017年 杉戸町議会議員初当選
- 2019年 金融コンサルタント会社起業。1500人以上の
法人、個人を顧客にもつ企業に発展
- 2022年 杉戸町町長選挙 484 票差で惜敗
- 2023年 杉戸町議会議員選挙 3 期目トップ当選



私の元気の源

- Mrs. GREEN APPLE
- BTS
- 角野隼斗（ピアニスト）
- 矢沢永吉
- スポーツ全般



原田すずこ後援会

X



Facebook



ホームページ

